

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
66	杏林大学	中国文学史 I	詹 満江 外国語学部 教授	2	前期	火	15	13:00～14:30	杏林大学 井の頭キャンパス	1～2

【到達目標】

有史以来唐代までの中国文学の概要を時系列に沿って知る。

【授業の概要】

中国の歴史は長いので、その文学史となると、膨大です。この講座では、膨大な中国文学の簡単な見取り図のような情報を提供します。基本的なことさえわかっているならば、あとは興味の赴くまま、広大な中国文学の山河を迷わずに逍遥できるでしょう。

【授業内容】

- 演習
- 第 1 回: 導入 授業の進め方を説明するとともに、中国についての基礎知識を確認する。
- 第 2 回: 序論—中国文学の性質 ヨーロッパとほぼ同じ広さの国土でありながら、ヨーロッパのように国が分かれず、一つの国として共通の文化・文学を形成できたのは「漢字」があったから。
- 第 3 回: 『詩経』—中国最古の詩集 中国古典詩の原点である『詩経』の精神とは、「思い邪無し」。
- 第 4 回: 楚辞—南方の歌謡 北方とは異なった文化圏。巫系文学の風土が生んだ独特の文学。
- 第 5 回: 諸子百家—春秋戦国時代の遊説家たち 下剋上の時代に活躍した遊説家たちの様々な思想は、後の儒教と道教(と外来の仏教)という大きな流れとなる。
- 第 6 回: 司馬遷の『史記』—紀伝体の始まり 歴史を重んじた中国では、歴史の記録は命がけの大事業であった。
- 第 7 回: 竹林の七賢 部下が上司に取って代わるという険悪な時代、世俗を
* 課題に対するフィードバックの方法: 学生の課題提出物について、適宜コメントを返す。
- 遁れて生きた七人の賢者がいた。
- 第 8 回: 田園詩人—陶淵明 弱小貴族の出であった隠逸の詩人は、素朴な田園の美しさを詠った。
- 第 9 回: 山水詩人—謝靈運 一流貴族の出であった謝靈運は、財力に物を言わせ、山林を切り開いて遊んだ。
- 第 10 回: 初唐の四傑 唐の初め、まだ唐らしい文学が芽生えていなかったときの四人の傑物。
- 第 11 回: 詩仙—李白 「天馬空を行く」と評された天才詩人は異邦人だった。
- 第 12 回: 詩聖—杜甫 どこまでも儒教の精神を貫き通した壮絶な一生は人々の胸を打つ。
- 第 13 回: 詩魔—白楽天 「長恨歌」「琵琶行」など、その浪漫的な詩は日本にも影響を与えた。
- 第 14 回: 恋愛詩人—李商隱 唐の晩期、夢とも現(うつつ)とも分かたぬ恋の儂さを詠じた。
- 第 15 回: 総まとめ 授業に関する意見交換、期末レポート提出。

【成績評価方法】

毎回の課題の提出(60%)と期末レポート(40%)。

【教科書】

松原 朗他著『教養のための中国古典文学史』研文出版 2009 年

※ この授業は、4/7(火)が初回です。